

126 回大阪労山救助隊主催 沢搬出訓練

担当 山下雄一(このはな山の会)



去る 2018 年 7 月 1 日 滝畑・千石谷にて救助隊主催の沢搬出訓練を行いました。

今回のテーマは通常所持しているであろう沢装備だけで歩行が困難になった負傷者の搬出とし、前週の事前訓練での下見の結果、ロープ担架を作って 6 人程度でゴーロや小滝を通過しつつ 500m 下流にあるヘリでのピックアップ想定地点までのルートを下ることとしました。

訓練当日は一般 9 人(ぼっぼ 4 人、泉州 5 人)と救助隊 9 人の参加者があり 2 パーティーに分けて、駐車場で行動予定の説明とロープ担架の作り方の練習のあと負傷発生地点へ場所を移し訓練開始です。

事前訓練で担架のポールに使った木の枝が折損して松本隊長を水没させたことを反省点としてポールに用いる木材には十分な強度のあるものを現地調達するとし、偵察、ルート工作、シミュレーションを兼ねての荷物だけの先送り搬送、戻って要救助者の搬送を繰り返すこと数ピッチ。



訓練とは言え慣れない担架でのゴーロ帯の通過や小滝下り、次の瞬間には誰が本物の要救助者になってもおかしくない緊張感のなか 2 パーティーとも予定していた時間より早く全員が無事にヘリのピックアップ想定地点まで到達することができました。

今回の訓練で気付いた点は全員で偵察に行くと要救助者を一人きりで残すことになるので要救助者の観察役を一人は残しておいたほうが良いこと。担架のポールには十分な強度をもたすこと。ロープ担架は横三列、目を細かく編んで適宜止め結びを入れ、50m ロープ全部使いきると強度のある安定したものができるようでした。

最後に松本隊長の「沢での搬出は危険と労力が必要です。沢登りでは無理をせずけがをしないようにしましょう。」との言葉で締めとなりました。

ご協力いただいた救助隊運営スタッフの皆様どうもありがとうございました。

参加者の皆様お疲れさまでした。